

WIDEX MOMENT™ デモ器 クラス変更ガイド

WIDEX MOMENT™のデモ器は、クラスの変更ができるようになりました。

※WIDEX MOMENT™の調整には、GPS V4.0以降が必要です。

デモ器を両耳接続する場合は、左右のクラスを同じにしてください。左右のクラスが異なる場合は、それぞれの補聴器を一つずつ接続し、下記手順で同じクラスに合わせ、その後両耳で接続し調整してください。



- MOMENT 440
- MOMENT 330
- MOMENT 220
- MOMENT 110

クラス変更手順は次のとおりです。

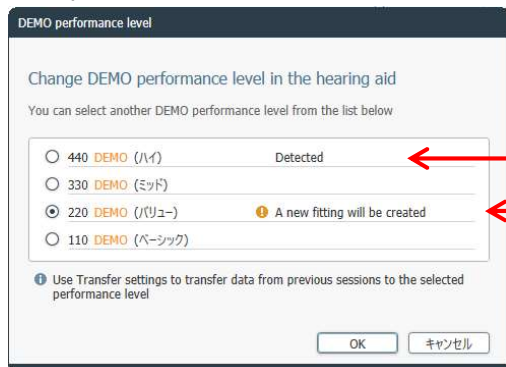
1. GPSを起動し、MOMENTのデモ器を接続します。



2. デモ器の左右を指定し、「次へ」をクリックします。



3. お客様にお試しいただくクラスにチェックを入れ、「OK」をクリックします。



※注意：デモ器内の調整データは削除されます。

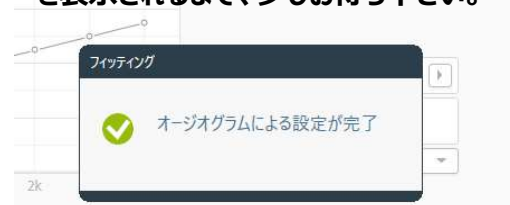
← 現在のデモ器に設定されているクラス (Detected)

← 新しく設定するクラス (A new fitting will be created)

4. クラス変更後、新規フィッティングと同様にレシーバー・イヤチップなど音響構成と装用経験の選択を行います。



「オーディオグラムによる設定が完了」と表示されるまで、少しお待ち下さい。



Q 同じお客様にクラスを変えてすぐ試聴させたい場合は？

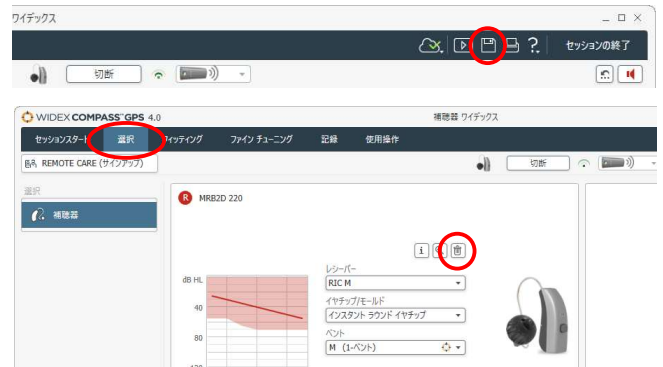
A フィッティングデータを一旦保存して、補聴器のデータ移行を使ってクラス切替えとデータコピーを行います。

例えば・・・



MOMENT440試聴 MOMENT220試聴

1. GPS画面右上の「」ボタンをクリックし、現在のフィッティングデータを保存します。
2. 「選択」に戻り、「」ボタンをクリックして器種選択を解除します。（接続解除の確認画面は、「はい」をクリックします。）
3. 当ガイド1ページ目の手順で、デモ器のクラス変更を行います。
4. 「セッションスタート」の「補聴器データ移行」から保存したデータのインポートを行います。データ移行手順は、下記の「補聴器データ移行手順」の2.以降をご覧ください。



補聴器データ移行手順（MOMENT/EVOKE/UNIQUE/BEYOND共通）

1. Noah4やGPSデータベースから調整するお客様を選択し、新しいセッションでGPSを起動します。
 2. 「セッションスタート」画面の「補聴器データ移行」をクリックします。
 3. 「データベースセッションの選択」をクリックします。
 4. 移行先の補聴器の電源を入れ、プログラミングインターフェースの通信範囲内に移行先の補聴器を置きます。
 5. 移行したいセッションデータを選択し、「移行先の補聴器へ接続」をクリックします。
- ※ MOMENTデモ器で同じシリアル番号の場合は確認画面が表示されます。「はい」をクリックして先に進んでください。



6. データ移行先の補聴器の左右を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。
7. データ移行先補聴器の音響構成（耳せんやレシーバー）を設定し、「次へ」をクリックします。
8. 移行できる内容を確認し、「インポート」ボタンをクリックします。



「インポート完了」と表示されれば、データ移行は完了です。